

いちご 一期 いちえ 会

小千谷市立総合支援学校 進路指導部

後期の現場実習が始まります

さて、10月から実習が始まります。高等部1年生は初めての現場実習となります。6月の校内実習で身につけた力、普段の学習活動で身につけた力、全ての力を使ってやり遂げてきてほしいです。

さて、現場実習はどのような目的で行われるのでしょうか。その子にあった「進路先」を見つけていくためのものであることは言うまでもありません。ですが、それだけではありません。学校と違う環境の中で、仕事を通して「働く充実感」を学び、「働く力」を育てていくことも大きな目的です。そのためには、少しだけ厳しめの目標を設定していくことが重要になります。厳しすぎれば、意欲が削がれ、力は身につかないでしょう。緩ければ充実感を得たり、働く力を高めたりすることは見込めないでしょう。このような目的の基、実習を経て成長することで最適な「進路先」を考えることができるようになります。確かに高等部の3年間はあっという間に過ぎます。不安になることもあります。でも焦らず、一つ一つ成長させていくことが、充実した生活やそれを得るための「進路先」を見つける鍵となります。

とはいえ、少し厳しめのハードルは、本人にとっては「大変」と感じるものです。そこで保護者の皆様のサポートが必要になります。実習先から帰宅したら「お疲れ様」、「よく頑張ってるね」といった声かけをしてもらえると、子どもは頑張ります。また、実習に関して以下の点についてもお願いいたします。

ご家庭へのお願い

(1) 実習前【生徒が意欲的に取り組めるように】

○実習の心構え（身だしなみ、トイレなどの身辺処理やあいさつ、返事などの言葉を再確認）

○実習に必要な持ち物等の準備

○勤務時間等の時間に対する自覚

（規則正しい生活リズム・時間を守る意識）

○実習先までの通勤練習（安全に通えるように）

○実習先への事前挨拶

実習先への受け入れのお礼ということで、ご挨拶をお願いしています。

当校では、実習先によって、次のようにしています。

- ・福祉事業所・・・事前に保護者様より、ご挨拶に伺ってください。事前に行くことが無理であれば、実習期間中に見学も兼ねて、実習先に出向いてご挨拶いただくことをお勧めします。



- ・企業等・・・本人、保護者で、一緒にご挨拶に伺ってください。
その際、学校職員も同行いたします。企業側は、実習の受け入れに慣れていない場合もあり、スムーズな実習の受け入れを進めるため学校が間に入り、本人との顔合わせも兼ねて挨拶という形をとっています。

(2) 実習中【家庭での憩い、体力の回復、明日への準備を】



- 実習状況の把握（生徒の様子、会話、日誌の確認等）
- 清潔な身だしなみ
（入浴、洗髪、整髪、爪切り、洗顔、歯磨き、きれいな靴下、きれいなハンカチ、ティッシュ、きれいなタオル）
- 規則正しい生活リズム（早寝、早起き、しっかり朝食、時間に余裕をもって出勤）
- 明日への意欲づけ（明るい会話、たっぷり睡眠、心と身体のリフレッシュ）
- 実習日誌の記入
（保護者の欄に一言、記入をお願いします。お世話になっているという感謝の気持ちがあると、実習先にもその気持ちは伝わります。気持ちよく実習に取り組んでいただけたと思います。）
- 欠勤、遅刻、帰宅が遅い場合など迷わず学校〈担任・進路担当〉への連絡
（様子がおかしい？と感じたら、すぐに連絡、相談を！）

(3) 実習後

【実習のがんばりをほめ、反省をもとに具体的な目標をもたせた生活へ】

- 実習についてのアンケートにご協力をお願いします。

保護者の皆様のサポートがあって初めて実習は成立します。お忙しい中、本当に申し訳ありません。よろしくお願いいたします。

第3回進路教室を終えて

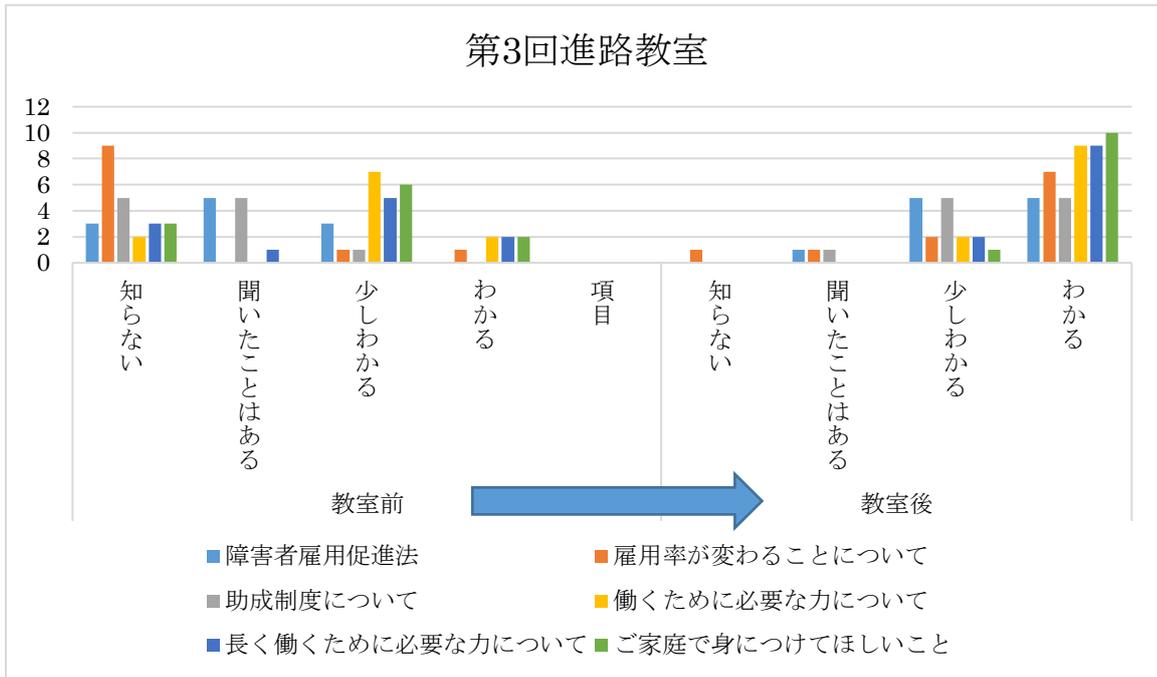
9月15日に第3回の進路教室を行いました。お忙しい中参加くださった皆様、ありがとうございました。今回は「一般就労を考える」をテーマに、ハローワーク長岡の専門援助部門（障害者の就労の専門部門）の齋藤様から来ていただき、お話いただきました。障害者雇用の制度から、一般就労に必要な力まで幅広く教えていただきました。話の中で、印象に残ったのが次の内容です。会社の採用担当者に「どんな人を採用したいか」の聞き取りをした結果、ほとんどの会社で次の回答が上位となったそうです。

- 1 あいさつをする
- 2 休まない（遅刻・早退を含む）
- 3 報告・連絡・相談をする

基本的なことですが、この基本が一番大事なことだと思います。実習でも先の3つをしっかりとやってきてほしいと思いました。

今回の進路教室でも参加者の皆様からアンケートを書いていただきました。結果をグ

ラフにまとめたものが下図になります。



次回は、12月8日（金）に進路教室を行います。内容は、「障害基礎年金」の予定です。高等部卒業後20歳になってから、ほぼ全ての生徒が必要とする大変重要な年金です。興味のある方は是非ご参加ください。

障害者雇用を考える会

9月20日に「障害者雇用を考える会」を小千谷市立総合支援学校で行いました。これは、小千谷市の自立支援協議会が主催するもので、昨年までは「企業の学校見学会」として行っていました。しかし、開校当初と比べ、参加する企業が減っていた現状もあり、今回は大きく趣向を変えて行いました。前半はハローワークの森山様と就業・生活支援センターこしじの太田様から「障害者雇用の制度や雇用事例」を話していただきました。後半は、まず校長先生から「本校の学習活動概要」について、私から「本校の実習制度と利点」について説明しました。また、インタビュー形式で代表生徒から「前期どのような現場実習を行ったか」を話してもらいました。その後、学校を案内し校舎や高等部の作業学習を中心に授業の様子を見ていただきました。子どもたちが真剣に作業に取り組む様子、職業班では生徒が活動内容を説明する姿も見ていただくことが出来ました。見学後、企業の方から「作業に取り組む集中力が素晴らしいですね。」といった感想もいただきました。会の最後にアンケートをとりましたが、今回参加して下さった11社のほとんどの企業が実習に興味をもってくださったことがわかりました。こういった活動の一つ一つを大事にして、子どもたちの将来につなげていきたいと思えます。

お問い合わせ等ありましたら下記までご連絡ください。

小千谷市立総合支援学校
 担当：進路指導主事 渡邊 憲将
 TEL 0258-82-1878 FAX 0258-82-1889